



南部町立南部中学校 学校だより 第5号

チーム南部中

令和3年6月16日(水)
校長 望月和彦

峡南地区総合体育大会

中学校運動部の教育内大会（学校の教育課程の中に位置づけられた大会）は、選手権大会（選手権）、総合体育大会（総体）、新人体育大会（新人戦）の3つです。中でも生徒たちにとって、3年間の部活動の集大成の場であり、最大の目標となっているのが総体です。県大会、関東大会、全国大会につながる総体の峡南地区大会が6月3日（木）と5日（土）に開催されました。



この地区総体に向け、5月31日には生徒会主催の「選手激励会」が体育館で行われました。吹奏楽部の演奏に合わせて選手たちが入場し、7つの運動部の部長による決意発表と選手代表のソフトテニス部望月紗菜さんの選手宣誓がありました。支えてきてくれたすべての人に感謝の気持ちを持ちながら、3年間の活動の成果をチーム一丸となって発揮してくるという決意を伝えてくれました。その後、応援委員会と文化部や選手以外の生徒たちから気持ちのこもった応援が選手たちに贈られました。今回も全校生徒による全力校歌は残念ながらできませんでしたが、選手たちは地区総体に向けての強い気持ちをもつことができましたと思います。



そして迎えた地区総体。2日間とも天候にも恵まれ、各会場で熱戦が繰り広げられました。本校の生徒たちは、「南部中」のユニフォームを着て、チームメイトと心をつなげて、最後まで全力で戦いました。その様子を顧問の教員にまとめてもらいました。

女子バスケ	<p>このチームで迎えた3回目の地区大会、残念ながら「1勝」には届くことができませんでした。しかしながら、前回大会での課題であるチームとしての動きについては改善できた大会でもありました。また、随所に練習の成果を発揮してこれまでの大会での最少失点に抑えることができました。まだまだ心のどこかに「来年がある」との思いがあるせいか、一つ一つのプレーに甘さが見えるのが残念ではあります。ここからの1年は南部中学校女子バスケットボール部として最後の1年となります。自分たちだけでなく、これまでの先輩方の想いも背負って1年間の練習を頑張っていきたいです。1年後の大会では、有終の美を飾れるよう最後の1年を過ごしていきたいと思います。（保坂）</p>	
男子バスケ	<p>残念ながら目標としてきた「公式戦一勝」は、果たせずに3年生にとって最後の大会は終わりました。しかし、試合の中では、随所に光ったプレーが見られました。大差がついても、諦めず必死に我慢し、じりじりと追いつけたあの場面。今までなら弱気になってしまい自分のプレーが出しきれずに終わっていたケースでも、強気になり、練習通りのプレーを見せたあの場面。タイムアウト中に、自分たちでお互いの修正点を伝え合い、次のプレーに備えていたあの場面。間違いなく、どれもこれまでの努力の賜でありました。そして、試合後、悔しさでいっぱいの気持ちを抑え、次試合のTOの仕事をお互い助け合いながら行う姿は、まさに「よき敗者」でした。（佐野希）</p>	
女子ソフトテニス	<p>個人戦では県大会への出場権を得ることができず、迎えた団体戦。特に、岡村咲祈・朝夷実来ペア、望月玲・佐野結菜ペアが粘り強い試合を展開し、身延・市川・鯉沢を破り、リーグ1位で決勝トーナメントへ。朝夷・佐野・芦沢那奈ら2年生の活躍がチームに大きく貢献したリーグ戦でした。1年生5人も含め、望月紗菜部長を中心にチームが一丸となり、アドバンテージを取られても諦めず戦い抜けたこと、挨拶や返事など行動面での勢いが印象的でした。サーブ・レシーブに始まり、前衛・後衛それぞれの役割の徹底や体のケアなどの課題を7月27日（火）の県大会にむけ、チームとして克服できる1ヶ月半にできるよう努力していきたいと思います。（雨宮）</p>	

男子ソフトテニス	<p>地区総体・個人戦では、武川洋斗・芦川輝ペアは、唯一の3年生ペアとして、善戦しました。ゲームを先行する場面もありましたが、デュースで勝ち切れず1回戦で敗退しました。望月洸樹・佐野陽音ペアも、3年生の望月が後輩をリードしつつ、ボールをつなげて粘りましたが、佐野航太郎・仲亀寛人ペアと同じく1回戦で敗退しました。団体戦では、県大会の残り一枠を賭けて、3校でのリーグ戦が行われました。早川中に快勝し、県大会出場がかかった六郷中戦では、1勝2敗と惜敗しました。たった3人の3年生でしたが、他校に負けられない存在感を感じました。これまで支えてくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。（山本）</p>	
女子バレー	<p>1日目は三珠中・市川中と対戦しました。1勝1敗で2日目の決勝トーナメントへ出場。増穂中・六郷中と対戦。チーム全体のこの大会当日を迎えるにあたっての過程、1勝にける思い、相手に最後まであきらめずに向かう姿勢などの大切さを改めて感じた大会になったと思います。コートの中や外でお互いに指摘し合っている姿やボールを追い続ける姿など、この1年でチームとして成長した部分も多く見られました。3年生は3年間お疲れ様でした。保護者の皆様、これまで女子バレーボール部の活動にご理解、ご協力してください、ありがとうございました。1、2年生はこれから新人戦に向けて頑張っていきましょう。（千野）</p>	
男子バレー	<p>峡南地区では、南部中、市川中、三珠中の3チームでのリーグ戦で試合が行われました。第1試合での三珠中との試合は、2-0で、危ないところもなく順当に勝利することができました。第3試合での市川中との試合は、南部中の調子がよくない中、市川中の試合の雰囲気がとてもよく、1セット目から苦戦し、最終的にはフルセット（3セット）まで持ち込まれました。3セット目はデュースまで持ち込まれ、敗退しました。今後は、バレーボールの技術とともにメンタルも強くしていきたいと思います。（山之内）</p>	
野球	<p>シードとなり、直接2日目のパート決勝に臨むこととなりました。相手は増穂中。一緒に練習してお互いを高め合った、いわば仲間です。よく分かっている相手ですが、1日目に六郷中を破り波に乗っていました。初回到先制を許し、劣勢に立たされました。しかし、3年生を中心に再三のピンチをしのぎながら反撃に転じ、2度のチャンスを実確にものにして5点を奪取、相手の反撃を1点に押さえて5対2で勝利しました。一見危うくも見える試合でしたが、厳しい練習で培われた自信、監督の熱い情熱に応える選手の気持ち、ご家庭の方の力強い支援、3年生2年生1年生の心が一つになったワンチーム、みんなの信頼関係に裏打ちされた、必然の勝利でした。（望月美彦）</p>	

新体力テスト

「新体力テスト」は、体力向上や運動能力の向上を目指すために、全国的な調査として行われています。握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、ハンドボール投げ、立ち幅跳び、50m走、シャトルランの8種目の測定と生活・運動週間の調査からなっています。6月9日に、グラウンド、体育館、柔剣道場を使って、全校一斉に測定を行いました。全国や県平均との比較や経年変化を分析することによって、本校の生徒の特徴を分析し、体力や運動能力向上を目指します。



陸上練習開始

地区陸上が6月21日に小瀬で開催されます。短期間ですが、それに向けて陸上練習が始まりました。体育の授業での記録を基に選手が選ばれ、放課後、練習に取り組んでいます。地域の専門家の四條勉先生も選手を指導に来てくれています。昨年度は中止だった大会ですが、2年前と3年前には各学年男女別の6部門の中で本校は4部門で総合優勝を果たしています。今年度も「チーム南部中」の活躍を期待しています。

